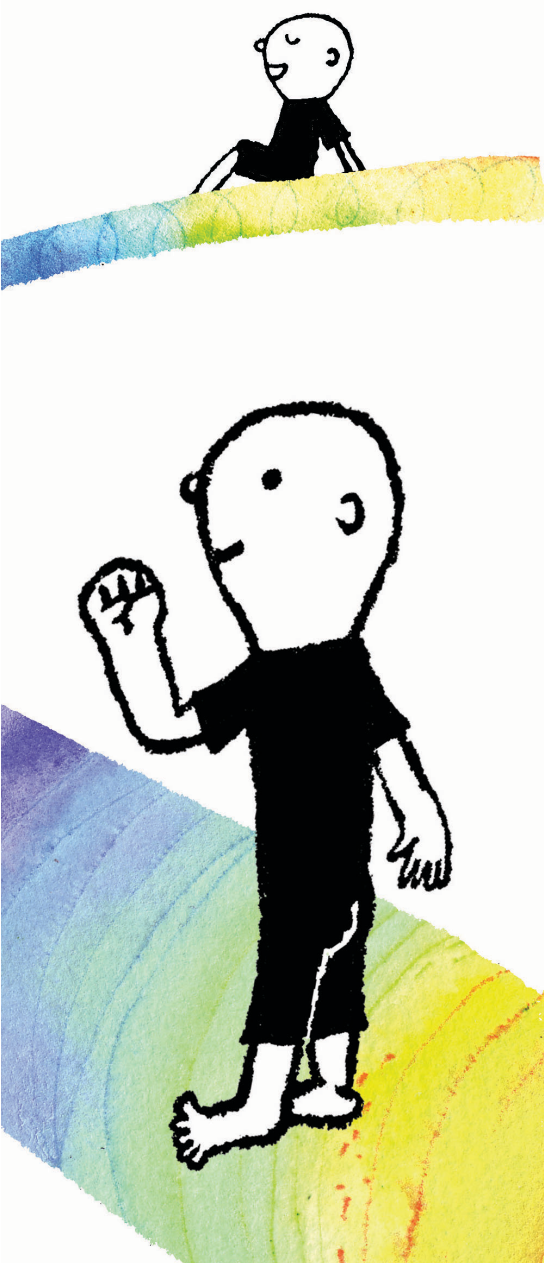


若者雇用を考える



団塊の世代が労働市場から退出する「2007年問題」が注目を集めています。日本経済を支える生命線と言われるものづくり産業においても重要な問題です。特に、技術・技能の継承・育成という面で、これからのものづくり産業を担う若者労働者をいかに確保し、人材育成していくかはものづくり産業の発展にとって重大な課題と言えます。今号では、昨年10月末に金属労協が開催した2007年度政策セミナーの内容に加え、ものづくり産業を代表して、三菱重工(株)名古屋航空宇宙システム製作所と関東自動車工業(株)

岩手工場の現地取材をして、人事担当者や労働組合役員に若者雇用の現状と課題についてインタビューをすると共に、若者労働者代表にもものづくり現場における働きがいなどについて本音を聞きました。政策セミナーの内容としては、ものづくり現場を担う若者雇用の現状と課題について、金属各産業別の状況を見ると共に、ものづくり集積地、工業高校などの教育機関、ものづくり請負メーカーの切り口から若者雇用について講演・報告のエッセンスを執筆いただき掲載しています。

(編集・文責) IMF-JC 組織総務局

特集

ものづくり現場から



Illustration : しおたまこ